

枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設

建築場所 京都府京田辺市田辺ボケ谷18番地2

建物概要 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
地上5階 地下1階 4,340.36m²

工事概要 新築工事

竣工年月 2026年3月

事業者 大阪府

設計施工 カナデビア・東洋建設特定建設工事共同企業体

監理者 株式会社エイト日本技術開発 関西支店

(環境配慮)

循環型社会形成推進交付金対象施設(エネルギー回収施設)

(防災・減災)

煙突外筒に軽量かつ柔軟性を有する膜材料を採用し、地震時の変形に追従することで、破損による二次災害を防止

外觀



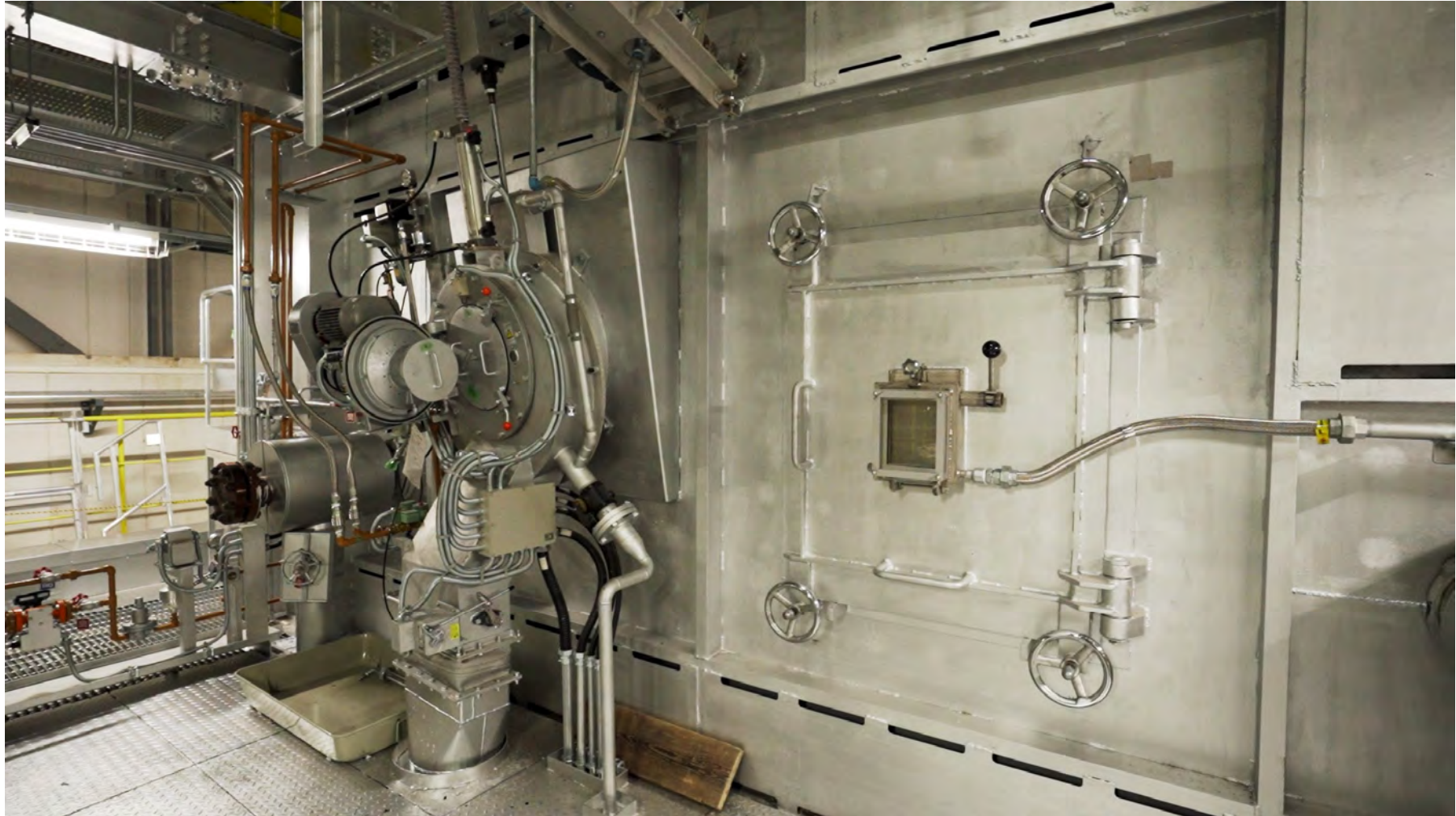
プラットフォーム



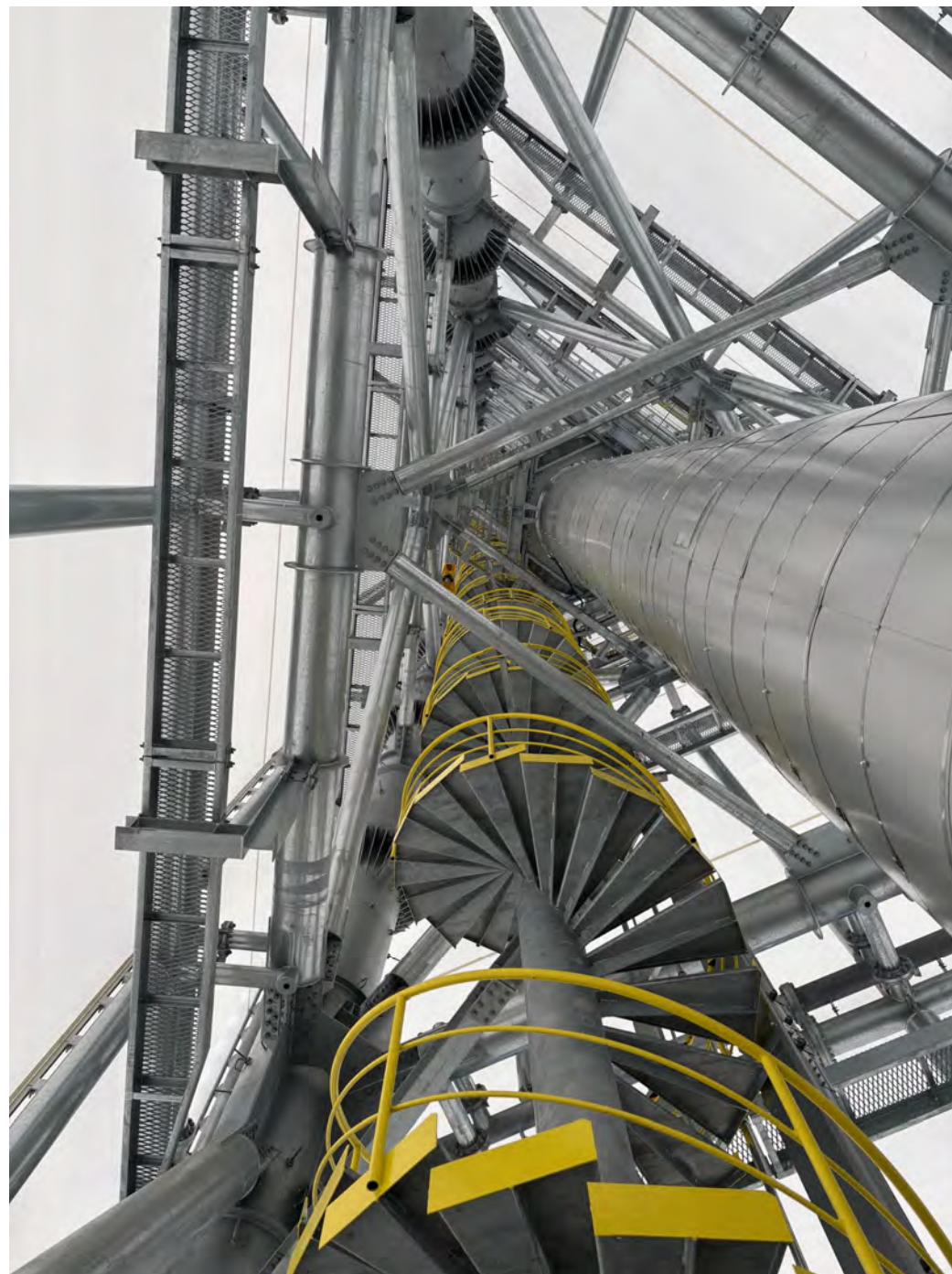
ごみピット



焼却炉



煙突内部



外觀



Access Map



枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設
 〒610-0331 京都府京田辺市田辺ボケ谷 18 番地 2

枚方市方面から

京阪電車
枚方市駅
● 京阪バス 北口4のりば
・「長尾駅」「摂南大学枚方キャンパス」
または「大阪国際大学」方面行きに乗車
長尾駅 河内峠駅
● 京阪バス
・「近鉄新田辺」方面に乗り換え

京田辺市方面から

近鉄電車
新田辺駅
● 京阪バス 4 番のりば
・「松井山手駅」方面行きに乗車
JR
京田辺駅
● 京阪バス 交差点南側のりば
・「松井山手駅」方面行きに乗車



枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設

枚方京田辺環境施設組合



〔設計・施工〕カナデピア・東洋建設（東洋・サンエース・野原 JV）特定建設工事共同企業体
 〔運営〕（株）eco フォレスト枚方京田辺
 〔事業主体〕枚方京田辺環境施設組合

軸となる鉄骨の外側にドーム屋根にも使われる膜材を採用した膜煙突であり、軽量性・防汚性に優れています。また、地震時の変形に追従するため、破損による二次災害を防止するなど地震にも強い煙突です。

耐震性能は病院等と同等の構造体Ⅱ類で計画しており、その他さまざまな強靱化対策を施すことで、安全性を確保しています。

管理部門エリア

計量棟

施設概要

施設名称：枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設
所在地：京都府京田辺市田辺ボケ谷 18 番地 2
運営開始日：2026(令和 8)年 3 月 31 日

**蒸気タービン発電機
コーナー**
透明スクリーンで蒸気や電気の
の流れを見える化し、つくっ
て電力の活用方法を学ぶ。

-  見学者通路
-  体験展示
-  映像展示
-  パネル展示
-  見学窓

2F 管理部門エリア

施設案内 CO

入口／出口

1F 管理部門エリア

管理部門エリア

ごみ量・発電量・排ガスの推移や感想レターを表示。
施設外観 CG を自由に操作して、見て学ぶ。

見学窓から



①～⑥の稼働状況を見学することができる！

プラットホームコーナー
家庭から出るごみがどのように分別され、プラットホームへ運ばれるかを紹介。

焼却炉・集じん器コーナー
ごみを高温で燃やし、灰にして量を減らすしくみや煙をきれいにする工程をクイズ形式で学ぶ。

残渣コーナー

ごみを燃やしたあとの灰が運ばれ、どのように処理されるかを紹介。

〔工場棟〕

構造：SRC造+一部RC造+一部S造

階数：地上5階、地下1階

建築面積：4,253.55㎡

延床面積：8,639.73㎡

高さ：33.55m

〔煙突〕
内筒：鋼板製
外筒：鉄骨＋金属製サイディング＋膜材
高さ：100m

処 理 能 力：168t / 日 (1 炉)
 受入供給設備：ピット & クレーン方式
 燃 焼 設 備：ストーカ式焼却炉
 燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ方式
 余熱利用設備：蒸気タービン発電機 (定格 4,870kW)
 排ガス処理設備：ろ過式集じん器、有害ガス除去装置、触媒脱硝装置
 電 気 設 備：特別高圧配電線 1 回線受電

ごみを処理している 主な設備

1

計量機

搬入されたごみの重量を計測し
コンピュータで分類・集計する
ことで、日々の処理量を
正確に管理しています。



2

プラットフォーム

搬入されたごみをごみピットに
投入する場所です。投入扉は
5箇所あり、効率的な
受け入れと処理を可能に
しています。



3

ごみピット

ごみを溜めておく場所です。
容量は4,812 m³あります。

ごみクレーン

ごみの移動・積み替え・かくはん攪拌
を行い、ごみ投入ホッパ
へ投入します。



かくはん攪拌：ごみを安定して燃えるよう
にするための混ぜ合わせ

11

中央制御室

各機器の運転および監視、
制御を行い焼却処理を安全に
実施しています。
各機器をコントロールすることで、
ごみを安心して処理できる
環境を維持しています。



24h
稼働

受入供給設備

焼却設備

発電設備

10

脱硝反応塔

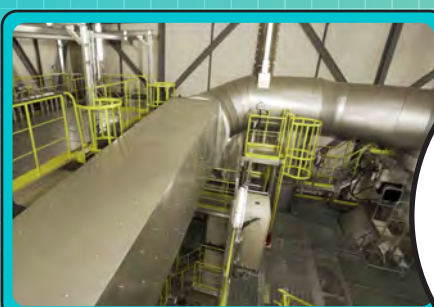
焼却により発生する窒素酸化物は、
アンモニアとの化学反応により
窒素と水に分解し、無害化され
安全に処理しています。



9

ろ過式集じん器

ろ布という特殊なフィルタで、
排ガスに含まれる有害物質や
ばいじんを取り除き、
環境への影響を抑えます。



8

飛灰処理設備

排ガスと共に飛散した飛灰を
回収し、薬剤で無害化処理を
行ったあと、貯留ピットへ搬送します。
環境への影響を最小限に
抑えた安全な処理を
行っています。



7

灰ピット

焼却炉から出た焼却灰は
灰ピットへ搬送されます。

灰クレーン

ピット内の焼却灰や
飛灰処理物を積み替えし、
トラックに積み込みます。



6

蒸気タービン発電機

ごみ焼却時に発生する熱エネルギー
を回収し、最大4,870kWの発電を
行うことができます。発電した
電力は、本施設全体の運転に利用し、
余った電力は電力会社に
売却しています。



5

ボイラ

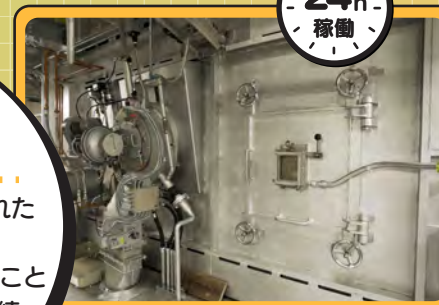
ごみを燃やした時に出る
高温の排ガスから熱を
回収して蒸気を作ります。
ボイラは焼却炉と
一体型です。



4

焼却炉

ごみ投入ホッパへ投入された
ごみを燃やします。
1日168tのごみを燃やすこと
ができます。24時間連続
して運転しています。



24h
稼働

Security

安心で安全な
焼却処理

Recycle

資源の
再生利用

Technology

環境を考慮した
最新設備

当施設では廃棄物の焼却処理により排出されるガスの管理基準値を国の排出基準よりも大幅に下回る様計画しており、地域社会の方々にとって安心、安全な最新の排ガス処理設備を導入しています。

工事面では、施設近隣に営巣しているオオタカの繁殖活動への影響を避けるため騒音や振動が最低限となる様配慮して計画しています。オオタカへの影響が大きい高所作業が必須となる煙突工事は膜材料のパネルを外筒に採用することで、鉄塔鉄骨にパネルを取り付けるだけの作業となり、オオタカの繁殖期外の短工期で施工を終えています。

(カナデビア株式会社 環境事業本部 環境プロセス第2計画部 田中 孝二郎)

枚方京田辺環境施設組合HP <https://hirakata-kyotanabe.jp>

施設整備の概要 <https://hirakata-kyotanabe.jp/project/facilities/>

ecoフォレスト枚方京田辺HP <https://ecoforest.ekankyo21.com/>